



地球環境の保全

リケンテクノスのサステナビリティ

「環境意識の高まり」「脱プラスチックの動き」など、社会課題に対する関心と解決への要請が高まっており、当社グループを取り巻く外部環境は大きく変化しています。

当社グループでは、事業の持続的な成長と社会課題解決に真摯に取り組むべく、サステナビリティを推進する体制を構築しています。SDGs、ESGの視点から、事業におけるリスクと機会を的確に捉え、それらを経営戦略に組み込むことで、事業を通じた新しい価値・ソリューションを社会に提供し続け、社会課題解決、サステナブルな社会の実現に貢献していきます。また、それらの取り組みについて、ステークホルダーの皆様に向けた情報開示をさらに強化していきます。

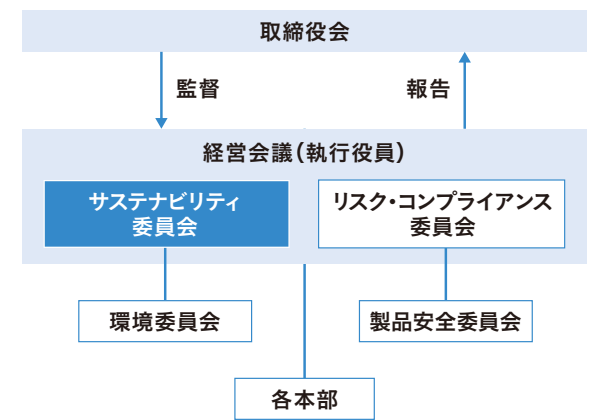
サステナビリティ推進体制

当社グループを取り巻く外部環境が大きく変化する中、より一層ステークホルダーの皆様からの期待を企業活動に取り入れるべく、現場と経営層をつなぐ機能として、サステナビリティ委員会を設置しています。サステナビリティ委員会は社長執行役員を委員長とし、経営会議のメンバーである全執行役員によって構成され、社外取締役もオブザーバーとして参加しています。経営層が主導することにより、スピードを重視した経営の意思決定と施策の実施が可能となる組織体制を構築しています。

サステナビリティ領域に関する優先的に取り組むべき重要課題（マテリアリティ）の特定と見直し、特定した重要課題への対応方針・目標の承認、活動の進捗の統括と評価を行っています。また、環境貢献製品の認定やサステナビリティに関する全社教育および浸透活動の取り組みを進めています。サステナビリティ委員会およびその下部組織である環境委員会は、気候変動を含む様々な重要課題（マテリアリティ）について審議し、その審議内容を経営会議に答申・報告します。

また、経営会議における気候変動を含むサステナビリティ関連の審議事項は、取締役会に定期的に報告されます。サステナビリティ委員会は年2回以上開催され、2025年度は6回開催されました。

サステナビリティ推進体制図



リケンテクノスグループ 企業行動規範 サステナビリティポリシー

当社グループは、地球環境や社会課題への対応を経営の重要課題のひとつと位置づけています。企業行動規範とサステナビリティポリシーをサステナブルな社会の実現を目指す方針として一体的に定め、経営理念であるリケンテクノスウェイとともに実践しています。この方針のもと、株主・投資家、顧客、取引先、従業員、地域社会をはじめとする多様なステークホルダーと対話を重ね、信頼関係の構築と強化に取り組んでいます。

➡ステークホルダーコミュニケーション P84～86

経営トップは、本規範・ポリシーの精神の実現が自らの役割であることを認識して経営にあたり、実効あるガバナンスを構築して社内、グループ会社に周知徹底を図ることで、その責任を果たしています。

今後も、当社グループは新たな価値・ソリューションの提供を通じて、サステナブルな社会の実現に貢献していきます。サステナビリティに関する考え方や方針の詳細は、当社ホームページをご参照ください。

▶ <https://www.rikentechnos.co.jp/csr/sustainability/policy/>

地球環境の保全

地球環境の保全

環境保全体制

当社グループは、環境との調和に配慮した企業活動を通じて、豊かな社会の実現に貢献し、すべてのステークホルダーからの信頼に応え得る企業を目指しています。そのため、環境保全体制を構築し、環境方針に基づいた活動やISO14001認証の維持継続を行っています。

また、環境システムを管掌する執行役員がトップに立ち、

総括環境管理責任者の指揮のもと、各サイトに環境管理責任者を配置し、環境マネジメントシステムを構築・運用しています。

ISO14001 (2015) 認証取得

登録日：2001年10月31日 維持継続中

環境方針

あらゆる企業活動において環境との調和に配慮し、地球環境の保全と持続可能な社会を実現するために、環境マネ

ジメントシステムを構築し、全員参加のもと、以下の取り組みを推進します。

1. 事業活動において、環境関連法規およびその他の合意事項の遵守のみならず、自ら規定類を定め、環境管理レベルの継続的改善、環境汚染の予防および環境保全の支援を推進します。
2. 安全性の確保された原材料を使用し、省エネ・省資源型製品、リサイクル適合製品、生物多様性および生態系への負荷の少ない製品等の環境に配慮した、様々な素材のプラスチック製品等を社会に供給します。
3. 持続可能な資源の利用、気候変動の緩和と対応に関して、可能な限り無駄を削減し、原材料の有効活用、使用エネルギーの極小化に努め、二酸化炭素排出量の削減と産業廃棄物の削減を行い、地球環境・生物多様性および生態系への負荷を軽減します。
4. 環境方針を含め社内規定類を文書化し、社員への教育・啓蒙活動により、継続的な環境保全活動の定着化を図ります。
5. 環境方針達成のために環境目的およびできる限り数値化した目標を設定し、定期的に自己評価を行い、進捗を適時管理します。
6. 以上の活動を当社グループの活動に結び付け、各拠点における地域環境・生物多様性および生態系保全に最大の配慮を行い、安全な操業を確保します。
7. 適切かつ正確な情報開示を行い社会からの信頼と理解を得ることに努めます。

持続可能な地球環境への挑戦

環境貢献製品

当社グループは、長期ビジョンにおいて「社会・環境の変化に柔軟に対応し、サステナブルな社会に貢献する」を10年後のありたい姿として掲げています。その実現に向け、環境・化学物質に関する諸法規・諸規制を遵守するとともに、環境負荷の高い化学物質使用量の削減や使用禁止など、厳格な環境管理のもと、環境負荷の低減に資する製品開発や製

造方法の改善に取り組んでいます。

こうした取り組みをより具体的に、着実に推進するため、環境貢献製品の定義を明確化し、当社製品の設計から使用段階に至るまでの貢献分野について社内基準を設定しました。これらの基準を満たす製品を「環境貢献製品」と位置づけ、社会や市場が求める製品の開発・拡販を推進しています。

環境貢献製品の定義

分野	貢献内容
省エネ	当社製品を使用することで可能になるユーザーへの「省エネ」貢献 ●軽量化 ●断熱 ●製造工程削減 ●使用電力削減（成形機負荷低減） ●長寿命化（製品および内容物）
リサイクル	当社製品におけるリサイクル材、廃棄素材の有効活用およびリサイクル材使用時の要求性能を維持した処方設計 ●PIR・PCR・廃棄物削減
カーボンニュートラル	バイオマス素材、石化比率低減素材を使用した処方設計 ●バイオマス素材 ●塩化ビニル樹脂（塩ビ）